



文部科学省における取組について

令和7年2月28日 令和6年度薬物乱用対策推進地方本部全国会議
初等中等教育局健康教育・食育課

令和5年度薬物乱用防止教室開催状況

学校教育においては、小・中・高等学校を通じて、学習指導要領に基づき、体育科・保健体育科を中心に、薬物乱用防止に関する指導を行うとともに、警察職員や学校薬剤師等の外部講師を活用して、「薬物乱用防止教室」の開催に努めている。

調査対象：国公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校

調査対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

回答総数：33,455校

	調査回答校数	開催校数	開催率
全学校種	33,455	27,967	83.6% (79.6%)
小学校等	18,837	14,950	79.4% (75.5%)
中学校等	9,959	8,962	90.0% (86.0%)
高等学校等	4,659	4,055	87.0% (82.5%)

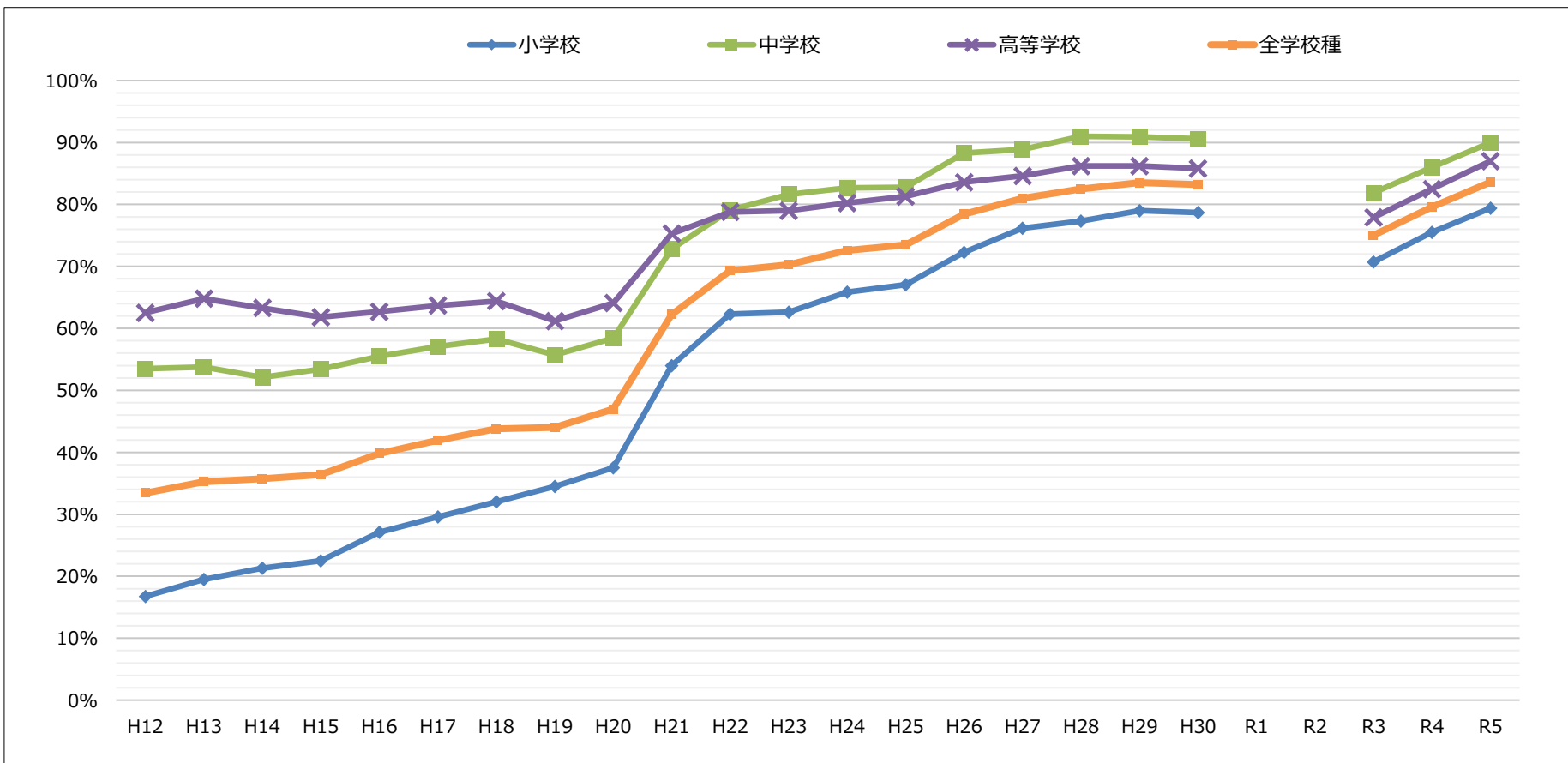
※小学校等：義務教育学校前期を含む。中学校等：義務教育学校後期及び中等教育学校前期を含む。高等学校等：中等教育学校後期を含む。

※ ()内は前回調査（令和4年度）開催率

薬物乱用防止教室開催率の推移

(%)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全学校種 ※2	33.4	35.3	35.7	36.4	39.8	41.9	43.8	44.0	47.0	62.2	69.3	70.3	72.6	73.5	78.4	81.0	82.5	83.5	83.2	-	-	75.0	79.6	83.6
小学校	16.8	19.5	21.3	22.5	27.1	29.6	32.0	34.5	37.5	54.0	62.3	62.6	65.9	67.1	72.3	76.2	77.3	79.1	78.6	-	-	70.7	75.5	79.4
中学校	53.5	53.8	52.1	53.4	55.5	57.1	58.3	55.7	58.4	72.8	79.1	81.6	82.7	82.8	88.3	88.9	91.0	91.0	90.6	-	-	82.0	86.0	90.0
高等学校	62.5	64.8	63.3	61.8	62.7	63.7	64.4	61.2	64.1	75.3	78.8	79.0	80.2	81.3	83.6	84.6	86.3	86.4	85.8	-	-	78.0	82.5	87.0



※1 平成22年度は、岩手県（公立）、宮城県（私立）、福島県（公・私立）、仙台市 は含まず。
 ※2 「全学校種」は、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校の数値の合計であり、平成28年度からは義務教育学校を含んで集計。
 ※3 令和元年度、2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開催状況調査は未実施。

依頼した講師の職種

(校) ※ ()内は割合

職 種	全 体		小学校等		中学校等		高等学校等	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
警察職員	10,413	(34.3%)	4,499	(27.9%)	3,807	(38.4%)	2,107	(48.6%)
麻薬取締官	140	(0.5%)	37	(0.2%)	50	(0.5%)	53	(1.2%)
学校薬剤師等薬剤師	9,960	(32.8%)	6,560	(40.7%)	2,735	(27.6%)	665	(15.3%)
学校医等医師	485	(1.6%)	302	(1.9%)	150	(1.5%)	33	(0.8%)
矯正施設職員	289	(1.0%)	41	(0.3%)	112	(1.1%)	136	(3.1%)
保健所職員	907	(3.0%)	506	(3.1%)	286	(2.9%)	115	(2.7%)
精神保健福祉センター職員	81	(0.3%)	32	(0.2%)	31	(0.3%)	18	(0.4%)
税関職員	302	(1.0%)	70	(0.4%)	137	(1.4%)	95	(2.2%)
大学教員等	474	(1.6%)	142	(0.9%)	155	(1.6%)	177	(4.1%)
薬物乱用防止指導員(※1)	1,596	(5.3%)	897	(5.6%)	543	(5.5%)	156	(3.6%)
民間団体等構成員(※2)	2,335	(7.7%)	1,438	(8.9%)	712	(7.2%)	185	(4.3%)
造けいの深い指導的な教員(※3)	1,373	(4.5%)	646	(4.0%)	502	(5.1%)	225	(5.2%)
その他(※4)	2,039	(6.7%)	966	(6.0%)	705	(7.1%)	368	(8.5%)
合 計	30,394	(100.0%)	16,136	(100.0%)	9,925	(100.0%)	4,333	(100.0%)

※1 薬物乱用防止指導員…各都道府県に設置された薬物乱用防止のための指導員(保護司、教育関係者等)

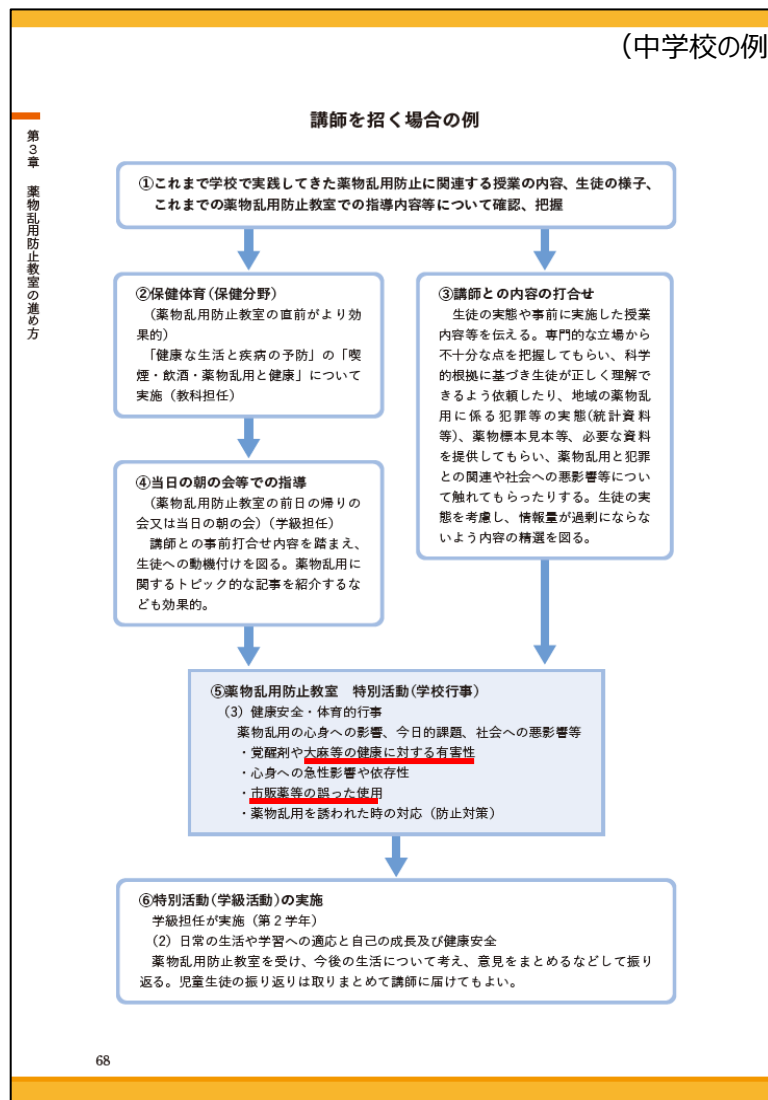
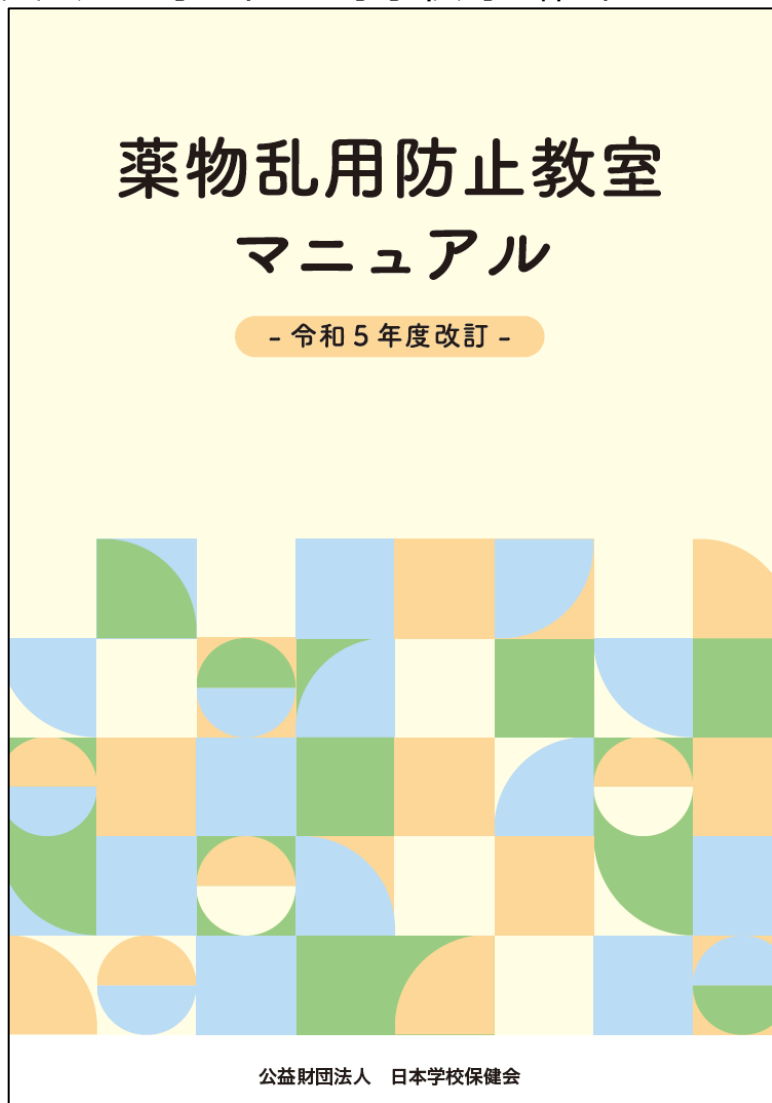
※2 民間団体等構成員…ライオンズクラブ等の社会奉仕団体等構成員

※3 造けいの深い指導的な教員…薬物乱用防止教育等に造けいの深い指導的な教員

※4 その他…青少年補導員、社会復帰施設職員、家庭裁判所職員等

文部科学省の取組①

- ◆ 大麻事犯の増加や市販薬の過量服薬など、近年の子供を取り巻く薬物乱用に関わる現状を踏まえ、令和6年3月に「薬物乱用防止教室マニュアル」を改訂し、都道府県教育委員会・市町村教育委員会及び小・中・高等学校等へ配布



文部科学省の取組②

◆ 薬物乱用防止に係るSNS（文部科学省公式X等）での発信

令和7年1月16日掲載



<https://x.com/mextjapan/status/1879802005444833516>

令和7年1月23日掲載



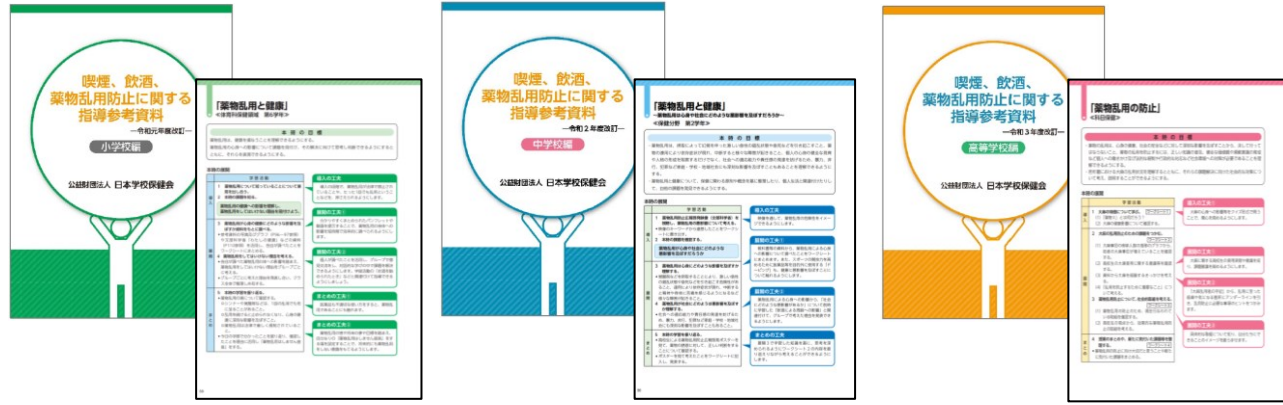
<https://x.com/mextjapan/status/1882256855080296942>

文部科学省の取組③

◆ 関係省庁と連携し、指導資料や啓発資料を作成し、教育委員会等の担当者へ周知

【教員・外部講師対象】

喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料
(小学校編／中学校編／高等学校編)



薬物乱用防止教室マニュアルー令和5年度改訂ー



【児童生徒・学生、保護者対象】

児童生徒向けの健康教育に関する総合的な啓発教材（薬物乱用防止に関する内容を掲載）

「わたしの健康」（小学生用）

「かけがえない自分
かけがえない健康」
(中学生用)

「健康な生活を送るために」
(高校生用)

大学生等を対象とした啓発資料

小学校第6学年の児童の
保護者を対象とした啓発
資料

